かえでゆうびん　6月号

平成３０年６月１日
社会福祉法人　清松学園
かえで保育園
園長引地美津代

先日の保護者会ではお忙しい中、多くの方にご参加いただきありがとうございました。
３０年度は「つなげる」というキーワードで「人と人」「心と心」「自然と子ども」「保護者と保護者」などかえで保育園で出会う様々な事項が子どもを中心につながるよう保育を進めていきたいと思っています。
保護者会で、説明をしていく際、一つ一つの話にニコニコと笑顔を下さり、うなずいて聞いてくださることが増え、私にとって何より心の支えとなっています。子どもたちや保護者の皆様が安心し満喫できるよう、園の運営を進めていきたいと思っています。どうぞ今年度も笑顔あふれる一年になりますようよろしくお願いします。
日々の保育の紹介でもお伝えしましたが、小さなクラスの子どもたちも「あっ！そうだ！」と思い、「そうするんだ。」やってみて「あ～面白かった」「そうそう・そうだった！」と思える瞬間に出会うことが増えてきました。毎日子どもが体験したり、いろいろなことに出会えることで、興味関心が深まり、子ども自身の糧となっていきます。めばえからだいちまでいろいろなことに出会い、考え行動できる環境を準備して保育を進めていきたいと考えています。

今年度も好評だった磯部先生とのアートの時間、びっくりするほどあっという間に過ぎてしまいました。
昨年よりモノや素材との出会いこそ子どもの時期に必要な経験だと言ってくださったことが２度目のお話で保護者の皆様に届いているな！と思う時間でした。まず、子どもの考えを優先する関わり、どんな思いでも受け止めてくれる体制、アートを楽しめる心が多くあることで、すばらしい表現力となること。どんなことでも子どもたちの考え方や楽しみ方を大人が認め、援助していくことの大切さを伝えていただいたと思います。ただ、大人もあんなに汚れるとは思わなかったというご意見もあり、事前のお知らせをもっと丁寧にすべきだったと、感じています。これを機にかえでの行事には、動きやすく、汚れることを前提とした参加をお願いしたいと思います。

今年の６月は梅雨入りが早いといわれています。早速先日の雨の日、園庭に出ていた子どもたちがあまりに楽しそうでしたので「雨を感じてるの？」と聞いてみましたところ「うん！今音を感じているの。ポンポントトト・・って雨水が鳴っているよ」とのこと。素敵な表現だな～と思いみていると缶や玩具の蓋などをもって上から落ちてくる雨音を楽しんでいました。素敵～！！
大人になって毎日雑多な中で時間に終われってしまう毎日に、こんな素敵ことに耳を傾けられたら、心が落ち着いてうれしい毎日に変わるな～と思いました。
さてかえでリサイクルが５月３１日、１回目が大盛況で進められました。品物を寄付いただいた方々、準備してくださった方々、ありがとうございました。ランチルームで今までお話したことのないお母さま方がお茶を飲みながら会話を楽しみ、商品を手に取りニコニコ顔・・卒園された方々もお越しいただきうれしい時間を過ごせました。これからも「かえでカフェ」が活性化していけるようご意見を大切にしながら進めていきたいと思います。
本日出たご意見は日程を決めてもらうほうが参加しやすいとのこと
改めて皆様にお知らせいたします。リサイクルデイは６月２日（土）１３：３０～も行います。
皆様のお越しをお待ちしております。

保護者会でお知らせしました「かえでゆうびん」の閲覧してくださる人数もふえますように・・・・

にこにこメッセージ

５月中頃から園庭の紫陽花が色づき始め、薄ピンクのかわいい花が見ごろとなっています。
さっそく子どもはままごとに使ってみたり、水を入れた容器にそっと浮かべてみたりと大人とは違った鑑賞の仕方で楽しんでいます。色づき始めたばかりの花ですから、摘み取るのは、もう少ししてからにしてほしいとも思いましたが、そおっとちぎり、大事そうに手にとり、遊ぶ姿を見ていると、そんな姿を見守っていきたいと思ってしまいました。

先日、保護者会の中で３０年度「つなげる」五感を輝かせるのテーマでのスライドを見ていただきましたが、いかがでしたか？日々の保育の中で職員はカメラを持ち、一人ひとりの生活やあそびをのぞいています。かえで保育園では、担任がクラスの子どもだけではなく、職員全体で共有しながら撮影しています。「〇〇ちゃんが今こんなことに興味を持っている」というようなことが発信されれば、全体で継続し見守っていくことも多々あります。その中では写真だけではなく、発した言葉や行動の記録へつなげていきます。写真の撮り方にも見る視点が違うと、同じような写真でも様々な表情が見えてきます。「あんなこと、こんなことあったよね」というようなことを繰り返し、記録を続けながら保育の振り返りをしています。スライド上映中、私は保護者の方の表情を見させていただきましたが、笑ったり、微笑んだり、うるっとしたりと、保護者の方々と大切なお子さまの様子を見ながらすてきな時間を共有できたように感じました。これからも色々なエピソードをお伝えしていきたいと思います。

主任保育士　藤森　寿美

せんせいからのおはなしコーナー

今年度も幼児クラス、だいち組の担任（４年連続だいち）をさせていただいていますが、園庭に出る時間には他クラスのお子さんとの時間も大切にしています。めばえさんは南側の窓を開けているので、自由にテラスを出入り出来るようになっています。ある日、めばえ組のＳちゃんを抱っこして一緒に園庭をお散歩していました。花を揺らしながら歌を歌ったり、草花をじっと見つめていました。大人やお兄さんお姉さんにとっては当たり前の環境も、S ちゃんにとっては一つひとつが初めての出会いなのだと思うとほっこりとした気持ちになりました。紫陽花のつぼみを見つけて近づくと初めは葉っぱに少し触れる程度でしたが、その日を境に毎日のように園庭を一緒にお散歩するようになりました。
すると翌日には紫陽花の葉っぱに自ら手を伸ばし、数日後には蕾に触れて笑顔を見せてくれるようになりました。
日々S ちゃんと紫陽花の観察をしていると、蕾が開き始めたり、ピンク色の綺麗な花が顔を出す変化に保育者も気付きます。今ではテラスの前を通ると、部屋の中から見つけて“お～い！”といった様子で一生懸命手を振ってくれるようになりました。時には、おもちゃや友だちの間を縫いながら、一生懸命ずりばいで向かってきてくれます。
言葉のない中にも生まれる気持ちの通じ合う瞬間が、たまらなく愛おしいです。

河本　彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「いろいろな物に触れてみよう」
う　た：「あめふり・オデコサンヲマイテ・かたつむり」
　４、５月を比べると淋しくても泣かなくなり、笑顔で遊ぶ子どもの姿が見られるようになってきました。始めは外に出てもじーっと周りを見つめているだけでしたが、砂にちょっと触れてみて保育者の顔を見つめ、「もう一回触っていい」と問いかける様子で砂を手に取り、握ってみたりしていました。一人ひとりが色々な物に興味を持ち始めました。お部屋だけなく園庭や園外にも出かけていきたいと思います。

これなあに

園庭に出ると砂、花や葉っぱなどゆっくり手にとって「これ食べれるのかな、なにかな」とじーっと見つめてみたり、触ってお皿の中にお花をいれてみたりしています。最初は見たり触ったりしているだけでしたがお皿とスコップをコンコンと音を鳴らし保育者が「コンコンって言ってるね」と言うと嬉しそうに、にこっとして何度も繰り返していました。これをきっかけにたくさんの物や自然に興味を持っていってほしいと思います。

次はぼく、わたしの番だよね

少しずつ、一日の流れを覚えてきてくれたようで、保育者がエプロンや三角巾をつけると、自分から保育者のそばに行き、「次はぼく、わたしの番だよね」と保育者に手を伸ばし、抱っこを求めてくれようになりました。食事を目の前にすると「先生、早く食べたい」と言っているかのようにじーっと配膳の方をみつめて机を「バンバン」と叩き「はやくはやく」と気持ちを表現してくれるようになりました。

勇気を出して

一人でおもちゃを見つけて遊んでいましたが、最近はお友達の存在にも少しずつ興味を持ち、近くまで行ってみたり、顔を覗き込んでいます。勇気を出してお友達に「えいっ」とタッチして触れてみたり、お友達と同じ動きをしてお互いの顔を見て嬉しそうに真似をしています。「あー」、「うー」など子どもたち同士で会話している姿が見られるようになってきています。

“担任の思い”

　園生活では一人で立ち少しずつ歩く姿見られるようになり、いろいろなものに興味を示し始め、砂や花や葉っぱなど自然に興味を持ち始めました。最初はじーっと見つめるだけでしたが、保育者が「ざらざらだね」など声掛けをしながら触れて渡してみると自分で手を伸ばしている姿がみられるようになりました。これをきっかけに子どもが遊びの中で五感を使って、いろいろなことを感じて欲しいと思います。

谷角早紀　植木雅　小板橋円香

～ふたばぐみ～

ねらい：「泥んこや草花などいろいろな物で遊んでみよう」

う　た：「かたつむり」「手をたたきましょう」　わらべうた「トウキョウト」

車や電車、積み木に砂場など、それぞれに自分が好きな遊びがでてきました。暑い日もでてきましたが外でも走ったり、鉄棒をしたりとよく体を動かして遊んでいます。お兄ちゃんお姉ちゃんがしていることもよく見ていて、同じようにホースを持ったり、後を追いかけたりして遊びながら真似をする姿も見られます。また毎日の生活の流れが習慣になり、帽子をかぶったり、手を洗ったりと自分でやってみようとしています。

みんなでお散歩楽しいね

交通公園まで皆でバスを見に散歩に行きました。友達や先生と手を繋いだり、バギーに乗ったりして出発しました。バスだけでなく、車やトラック、お花も見つけ「あっ！」と指さししながら楽しんでいました。

「お友達としっかりおててぎゅうしててね」と伝えると、手を放すことなくしっかりと手を繋いでいる子どもたちでした。これからも交通公園や東三公園などにお散歩に出かけて公園で遊んだり、バスやお花、虫、葉っぱなどを見たりして楽しんでいきたいと思います。

やってみたいな、こんなことしてみよう

「まずは好きな遊びから」といったようにおもちゃを取りに行っています。砂遊びではカップや型に砂を入れるだけでなく、石やお花を飾ってみたり、小枝を立てたりとアレンジも加わるようになりました。またお兄ちゃんお姉ちゃんがしていることもよく見ていて同じようにやってみたいなとシャボン玉や水遊びをする姿も見られます。「こうやってみたらどうなるのかな？」と水道に手を伸ばしたり、タライに溜めた水に向かってシャボン玉を吹いてみるなどそれぞれ考えながら遊んでいる姿を見ていると、その次はどうするのかと私たち保育者も見ていてわくわくします。近くにいたお友達と目を合わせたり、お友達がしているのを見て真似っこしてみたりとお友達への意識もでてきました。

“担任の思い”

お友達やお兄ちゃん、お姉ちゃんがしていることもよく見ている子どもたちは、おもちゃだけでなく虫や草花にも少しずつ興味がでてきています。子どもたちが発見したことに共感したり、一緒に遊んで楽しんでみたりする中で様々な物に触れ、「これなにかな」「楽しいな」「もっとやってみたいな」などいろいろ感じながら遊んでほしいと思います。

また毎日一緒に過ごす中で友達への意識もでてきています。まだまだ「ぼくの、わたしの」とおもちゃの取り合いになることもありますが、「一緒だね」「どうぞ」など保育者も言葉にしながら関わり、お友達がそばにいて“楽しいな”“うれしいな”と感じられる時間を大切にしたいと思います。

西口智子・福井真裕子・高田奈沙

～つぼみぐみ～

ねらい：「好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶ。」

う　た：「かたつむり・かえるのうた・かみなりどんがやってきた」

５月は園生活にも慣れ、お友達とかかわろうとする姿が増えてきました。

戸外では、ダンゴ虫探しや泥遊びなど元気いっぱい遊んでいます。休み明けには、家族と過ごして楽しかったことを保育者に伝えに来てくれることもあり、会話も少しずつ増えてきていて嬉しく思っています。ままごと遊びでも自分の体験を同じように「いってきまーす」「おちゃどうぞ」など再現して遊んでいます。

～散歩～

園外保育でお友達と手を繋いで交通公園に行きました。歩いている途中で「あ、こいのぼりが見える！」と保育園のこいのぼりが見えたことに気付いた子どもたちもいました。公園では、他の保育園の子どもたちと出会い、嬉しそうに手を振って挨拶をする姿も見られました。また、滑り台やブランコ、シーソーなどの遊具で遊んだり、鉄棒では何秒ぶら下がれるかを楽しんだり、かけっこをして楽しみました。

～絵の具～

お天気のいい日にテラスで絵の具をしました。紙だけでなく、手や足にいろんな色の絵の具をつけて楽しむ子もいました。赤と青を混ぜると紫になったことを知り、「わあ、すごい！」と喜んでいる子もいて混色を楽しんでいました。また、「何色が好き？」と聞くと「あお！」と教えてくれる子もいました。絵の具の感触や色を十分に楽しみ、満足した様子でした。

～手をつなごうよ～

お友達と手を繋いで公園に行ったことで、普段の遊びの中でもなかよく手を繋いで遊ぶようになりました。友達の名前を呼んだり、「お買い物いこ！」と誘ってごっこ遊びをしたり、お散歩をする子もいます。友達となかよく手を繋いで一緒に遊ぶ姿が増え、保育者も嬉しく思います。

“担任の思い”

保育者や友達とのかかわりが多くなったことで自我もありますが、友達との遊びの中で自分の気持ちを言葉で伝えたり、待つことや順番を守ることも少しずつ出来るようになってきました。一人ひとりに寄り添い、見守っていきながらも子ども同士のかかわりを大切にしていきたいと思っています。また、もうすぐ梅雨に入りますが健康状態を把握し、水分補給や衣服の調整に気を付けながら子どもたちが快適に過ごせるよう配慮していきたいです。雨の日は雨を感じたり、遊びを工夫して室内でも楽しく遊べるようにしていきます。

林　千紗・星加　由美子・山本　あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「興味のあるものを知ろうとする」
う　た：「カメのえんそく」「雨ふり」

５月に入って、ずいぶん新しい生活にも慣れてきたようで、「次これする？」「これしたい！」など積極的な姿が多くみられるようになってきました。またいぶきの活動だけでなく、だいち組のペアとのかかわりや、はまグループ、かぜグループで別れてクッキングをしたり製作をすることも楽しんでいます。６月からも、様々な友達と関わりながら、不思議に思ったり、興味をもつことを、ひとつひとつ大切にして、遊び込んでいきたいです。

“ゴーヤさん、おおきくなあれ！”

５月に入り、ゴーヤの苗をみんなで植えました。
「何色のお花が咲くかな？」「ゴーヤってどんなのかな？」など興味津々でした。
保育者が声を掛けなくても進んで水やりをしてくれるいぶき組。「先生、もうお水あげたよ！見に来て！」と、いつもうれしそうに報告をしに来てくれます。

毎日観察する中で、ツルが伸びていくことに興味をもっていて、「これはゴーヤの髪の毛だよ！」と話していました。ネットをかけるとますます伸びていき、毎日背比べをしています。はじめは自分たちより小さかったゴーヤも、どんどん大きくなっていくことに気が付いて、一生懸命両手を挙げて対抗していました。
これから育っていく様子を一緒に観察することが楽しみです。

“カメのえんそく”

遠足を楽しみにできるようにと、今月の歌に選んだ「カメのえんそく」ですが、私がカメを飼っていることもあり、カメについて少し紹介をしました。
するとカメへの興味が出てきて図鑑で調べてみたり、遠足で行った須磨海浜水族園で、カメをじっくり観察してみたりと、不思議に思ったことを積極的に知ろうとする姿が見られました。なかでもカメになりきった表現遊びが大好きで、カメ歩きをしたり、泳ぐ真似をしたり…。「蛇が来たら食べられる！」「でも早く歩けないから、手も足も甲羅に隠して！」など、図鑑を見て知ったことを子ども同士で話して表現あそびを楽しんでいます。そこから甲羅づくりにもつながって、みんなおしゃれな甲羅を背負って遊んでいます。最近は保育室がカメだらけに…。どんどん遊びがつながり、ますますカメに夢中ないぶき組です。6月１日は浜脇小学校へカメに出会いに行きます。

“担任の思い”

興味があるもの、気になるものを「知りたい！」という気持ちがどんどん出てきたいぶき組。今関心のあるカメも、自分たちで図鑑や絵本をみて知ろうとしていたり、実際になりきって楽しんでいます。子どもたちひとりひとりの探求心や、不思議に思う気持ちを大切にし、６月は園外にもどんどん出ていきたいと考えています。子どもたちの発見が遊びに繋がっていくようそばで見守り、一緒に楽しんでいきたいです。

林　奈津美

～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと不思議を見つけよう」
う　た：「にじのむこうに」「あめふりくまのこ」
園庭ではしゃぼん玉から「歌うたったらもっと飛ぶかな」と歌ってみたり、泳いでいるこいのぼりをみて「屋根よ～り」と歌いながら絵を描いたりとやってみたい、興味のある遊びをお友達と楽しむ姿が見られました。６月からは本格的にだいち組との自然グループでの活動やはま、かぜグループでの製作や遊びを楽しみたいと思います。その中から様々な子との関りを持ちながらいろんな“気づき”を発見することができるようにしていきたいです。

“げんきになってね”

いぶき組の頃に出会った絵本『おっきょちゃんとかっぱ』からみんなで作ったガータロを幼児部屋の中にしばらく置き去りになっていました。
ある日、いぶき組のお友達がガータロの姿を見て頭を撫でたり、顔を見つめて何だろうな…と不思議そうに見つめていました。その様子をひかり組の1人の子が傍で見ていました。しばらくしてガータロの前に立ち取れていた足を見つめながら近くにいたお友達に「なんだか元気ないね」「どうしたら元気になるかな…」と考え始めました。「きゅうり作ってあげよう」と取れていたガータロの足を治しながらきゅうり作りが始まりました。アートコーナーから材料を探し「お花つけたら嬉しいかな？」「きゅうりジュース飲んだら元気になるかも！」とガータロの絵と元気になってねの手紙を添えてみんなで作ったきゅうりをガータロに食べさせていました。ガータロを元気にしたい気持ちが溢れていました。

“担任の思い”

他のクラスの子どもからも「ガータロ！」と名前を呼んだり、アートコーナーで作った食べ物を「ご飯だよ！食べてね」と話しかける子もいました。いぶき組の頃にときめいた物語の世界が日々の生活の中でどこか子どもたちの中に残っているんだなと感じた瞬間でした。ひとつの物語から広がる遊びの楽しさを大切にしていきたいと思います。

5月中旬からひかり組ですいかを植え始めました。すいかの苗を植えながら「あれしたいね、すいかをドーンて割るの！」「すいか全部食べて帽子かぶるのも面白そう」とわくわくする姿に経験したことから子ども同士の関わる楽しさを見つけていきたいと思います。

また、自然グループ（そら、やま、うみ）ではグループの名前決めとそれぞれのグループで何をしたいか、だいち組と一緒に話し合いました。だいち組がやってみたいことを話し合うのを聞いて「お出かけにも行ってみたいな」「カブトムシも見つけられるかな？」と感じたことを話す子もいました。だいちさんと共に自然の中での不思議をたくさん見つけてほしいです。

日笠　加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「友だちとあそぶ中で、自分の気持ちと相手の気持ちに気付く」
う　た：「だいだいだいぼうけんのうた」「ハッピーチルドレン」
５月になり、いぶきさんの身の回りの手伝いも当たり前のようにしてくれています。上手くいかないことも成長に繋がる貴重な経験の一つですね。『かぜはともだち』の歌がお気に入りの一曲になったようで、散歩に出かける時にも口ずさみ最後には大合唱になっていました。６ 月もだいちさんわくわくするような歌を、一緒に楽しみたいと思います。

“わくわくする場所、みーつけた！”

今年度からひかり、だいち組混合の自然グループでの活動が始まりました。第一回目は雨の中御前浜に出かけましたが、どのグループも楽しみを見つけていました。数日後、だいち組で甲山に出かける予定にしていましたが、雨のため御前浜に変更しました。海や終わりの見えない砂浜を見て、全速力で走り出すだいちさん、普段のお出かけであれば「ストップー！」と声をかけたいところですが、広い砂浜ではその必要もありません。また、浅瀬では靴が汚れることを気にすることなく一生懸命にカニやクラゲを探していました。絵が描きたくなれば布を広げた場所へ行き、石や貝殻に興味が湧けば海沿いを歩きながらお気に入りのものを探し…。普段であれば制限しなければならないことも無い環境に、子どもたちは安心した様子でありのままの姿で過ごしていました。御前浜でのあそびを終え帰園する時になりはっと気づきました。“今日はだいちさん、ぶつかることもなければ、嫌な気持ちになった子が一人もいなかったな…”「もうむっちゃ楽しかった！毎日来ようよ！」目を輝かせて話し、帰園後も思い返しては笑顔がこぼれていました。これから社会に出ていく子どもたちにとって、ルールや時には我慢することも必要です。
しかし、“今”のだいちさんにとって、興味のあることを満足の行くまであそべる環境は大切にしたいと強く思いました。

“勇気が湧くまでに”

４ 月、入園したてのめばえさんがお部屋で抱っこしてもらっている様子を、園庭から窓越しにのぞいていました。めばえさんが園庭に出てくるようになると触れ合うことも増え、あっという間にお友だちの名前を覚えていただいちさん、「かわいいな」「めばえさんと一緒にあそびたい」「〇〇ちゃんきてるかな？」と毎日のように気にかけていました。“めばえさんと関わる中で、だいちさんの中にもきっと温かい気持ちが芽生えているはず…”と思い、
お手伝いをお願いしてみました。ただ、“友だちと一緒に”ではなく一人でやり遂げることを大切にしたいと思い、毎日一人ずつお願いすることにしました。
数日経ちめばえさんのお手伝いに行くことが恒例になった頃、Ａくんに声をかけてみました。「Ａくん、今日めばえさん行ってみる？」「うん！いってくる！」嬉しそうに駆けていきました。しかし数分後、園庭にいる担任の元へ戻ってきた Ａ くん、「あれ、どうしたの？」とても言いにくそうに担任のパーカーの紐をねじりながら話し始めました。「あのさ、めばえさんのお手伝い…やめとく」張り切って向かった Ａ くんでしたが、何があったのか話を聞いてみることにしました。「何かあった？」「…どうやったらいいか分からない」言葉一つひとつからどきどきの気持ちが伝わってきます。よくよく尋ねてみると、“どうやってあそんであげたらいいか分からない”とのことでした。
そこで、友だちと一緒であれば行けるのではないかと思い提案してみると、「それだったらいける」Ｂちゃんにお願いをして、２人でその日はお手伝いに向かいました。
５月になり、再度Ａくんを誘ってみることにしました。少し考え込んだ後に、「今日はやめとく」と一言。

“ああ、やっぱりまだ勇気が出ないかな…”そう思った時、「でも、明日は行く」とＡくんが呟きました。
翌日、声をかけてみると宣言通り一人でめばえさんに向かったＡくん、お友だちの反応を見ながらボールを転がし、喜んでいるめばえさんを見つめる目はとても優しく、またＡくんもとても嬉しそうでした。

“担任の思い”
張り切り駆けていったＡくんが、担任の元まで「やめとく」と声をかけにくるまでに、どのような姿があったのだろうと想像しました。“手を洗っているうちにドキドキが募っていったのかな”“めばえさんのドアの前で立ち止まって考えたのかな”友だちと２人で初めてお手伝いに行ったことも、今日ではなく“明日ならいける”と一日伸ばしてみたことも、Ａくんにとってはきっと大切な道のりで、勇気をふりしぼって“どきどき”をの乗り越えるために必要な過程だったのだと考えました。結果だけでみればめばえさんのお手伝いに行けたことに変わりはありませんが、Ａくんにとって特別な想いがそこにあったこと、自身の中で葛藤をして一歩踏み出したことを、保護者の方にも伝えたい！と強く感じた出来事でした。

河本　彩奈

めばえ・ふたば・つぼみからのお知らせ

- 暑くなってきましたので、シャワーを始めていきます。洋服と一緒に体ふきタオルもまとめてセットしてください。めばえ組は虫の対策として虫除け用の薄手の長袖、長ズボンをご用意ください。
- ６月より連絡帳の内容が変更となります。
（保育者からの毎日の記載がなくなりますのでご了承下さい。日常の様子は口頭でお伝えします。）
- 連絡帳に提出書類をはさまないでください。個人情報も含まれていますので保育者に直接手渡してください。諸費はできるだけ夕方に渡して頂けると助かります。

いぶき・ひかり・だいちからのお知らせ

- 困っています。朝９時30分までの登園をお願いします。
- 持ち物への記名をお願いします。
- グループ活動が入ってきます。POPを確認してください。

保護者の方からのおはなしコーナー

幼児クラスになり、自分よりお姉さんたちの会話を聞いているせいか、ごっこ遊びが前より女の子らしく、大人のような話しぶりなので聞いていて毎日楽しいです。
これからも健やかに成長してほしいです。

いぶき組　なつこさん

娘を見ていると全く飽きない。
なぜだろう？楽しくて仕方ない。
笑っている顔、仕草、おこったときの表情。
日々変化する言葉。
次女は５歳だ。５歳？5歳かぁー。
いいなー。いいって、俺は49歳。49歳もいいぞー。
君の（君たち家族みんなの）おかげで、パパは毎日楽しいのだ。心からありがとう。

ひかり組　たかしさん

４月のお誕生日会があった日、お家に帰ってから初めて「ハッピーバースデートゥーユー」と歌うようになりました。普段、保育園で歌が流れた時も嬉しそうに歌っているようですが、家でもノリノリで、手拍子をしながら歌い、最後は「ありがとうございました」と言ってシメにするのがお決まりの流れになっています。

ふたば組　まどかさん

息子もふたば組になり、話せる言葉が急に増えてきました。自分のしたいこと、イヤなことも伝えようとしています。
お友だちと一緒にいることが増え、遊びの中で色々なことを感じたり、学び成長していく姿をこれからも見守り、子どもと共に学んでいきたいと思います。

ふたば組　かおりさん

食事の準備をお手伝いしてもらっています。今日はフライの下ごしらえ。小麦粉をつけて、卵をつけて、パン粉をつけて、上手にできるようになりました。
お米とぎもできて、みそ汁の味見もこなすようになり、あとは経験をつませたいと思います。

だいち組　ゆみさん

まだまだ甘えん坊の娘ですが、６月で２歳になります。お歌のレパートリーは10曲を超え、家ではエンドレスで歌ってくれます。また、コトバもますます増え、先生やお友だちの名前、何をして遊んだなど、私に教えてくれるようになりました。
これからも、まっすぐ成長していってほしいものです。

ふたば組　まちこさん

毎週木曜日の体操が大好きな娘。

毎朝少し大きめの体操服も持ってきては、

「きょうたいしょうあるー？」とキラキラ

した目で聞いてきてとっても可愛いです。

つぼみ組　ゆきさん

～お台所から～

梅雨入りも間近、だんだんとじめじめとした暑い季節になってきます。
体も疲れやすくなってきますが、子どもたちの食欲が落ちてしまわないよう今月も旬の食材を多く取り入れ、暑さに負けず活動できるよう、食べやすい献立を考えていきます。また、食中毒が発生しやすい時期なので、衛生管理に十分気を付けて安心・安全な食事を作っていきます。

＜５月の食育活動の様子＞

・新鮮な淡路産たまねぎをいただき、皮むきをしました。とても立派なたまねぎで、子どもたちも「大きい」「いいにおいする」と話していました。始めは「どうしたらいいの？」と少し難しそうでしたがコツをつかむと「見て、できたよ」とあっという間に仕上げてくれました。剥いた玉ねぎはアルミホイルに巻いてオーブンで焼いて食べました。

・ひかり組はスナップエンドウのすじ取りをしました。スナップエンドウの先が固く、「固くて難しい」と話していましたが、うまく折れると「すじ取れたよ、見て」と取れたすじを見せてくれました。お昼のサラダに出てくると、「これ僕がすじ取ったやつかな？」「これは〇〇ちゃんのじゃない？」と話しながら食べていました。

・だいち組はたけのこの皮むきをしました。大きなたけのこを見ると、「めっちゃ大きい、どうやってむくの？」と興味深々な様子で見ていました。たけのこって竹の赤ちゃんなんだよと伝えると「竹って赤ちゃんなら食べれるんや」「流しそうめんの時に竹あった」など、思ったことを色々話してくれました。むいた皮を見て「鬼の角みたい」と頭に乗せている子もいました。

・いぶき組とだいち組でそら豆のさやむきをしました。いぶき組はさやをむいていくと「小さいお豆があったよ、赤ちゃんのお豆」と嬉しそうに見せに来る子もいました。だいち組では「黒い豆が入ってた」「腐ってるのかな？こげて黒くなったんかな？」など感じたことを子どもたちが話し合っていました。

＜６月旬の食材＞

空芯菜・びわ・メロン・すいかなどを予定しています。

＜６月に予定してる食育＞

レタスをちぎる・・・つぼみ
たまねぎの皮むき・・・いぶき組
スナップエンドウのすじとり・梅ジュース作り・・・ひかり組
昨年度作った手作り味噌でみそ汁作り・梅干し作り・・・だいち組
そのほかに夏至の日（６月２１日）にお昼の献立の酢の物にたこ（幼児のみ）を出し、夏至ことやたこを食べる意味などを伝えます。

新玉ねぎの皮むき

スナップエンドウのすじ取り

たけのこの皮むき

おしらせ

・６月１１日～２２日武庫川女子短期大学２名
　　１８日～２９日海星女子学院大学１名
学生が実習に来ます。

・６月７、８日は幼児クラス対象の尿検査があります。また、全園児対象の耳鼻科、眼科、歯科健診もあります。できるだけ欠席のないようにお願いします。

・産休中の保育士、木下 5/16 に女児・宝田 5/26 に男児を無事出産いたしました。

こんなことしたよ♪

幼児クラス、５月 18 日に須磨海浜水族園へバス遠足へ出かけました。事前に生き物について調べたり、図鑑を見たりしていたこともあってか、子どもたちはこの日をとても楽しみにしている様子でした。水族園では、イルカショーを見たり、大きな水槽で泳ぐさまざまな生き物を見たりと、大興奮の子どもたちでした。今回の遠足をきっかけに子どもたちの中でもさらに生き物に関する興味が広がったように感じます。お忙しい中お弁当や、おにぎりのご協力ありがとうございました。

お願い

・これから雨の日が多くなります。
駐車場ご利用の方は、短時間の利用にご協力下さい。
・レインコート使用の際は、玄関のレインコートかけをご利用ください。
・傘立てに置き傘はしないで下さい。
同じ傘がよく見られます。名前のご記入をお願いします。
・朝、幼児の外に出る時間が早くなりました。
お出かけの際必ず保育者へ一声お声掛けください。

≪６月の予定≫

２日（土）リサイクルディ
　　１３：３０～１６：００
７日（木）だいち懇談（１７：３０～）
７・８日　　尿検査（幼児）
　　＊２２日追加または再検査
　　＊お手紙配布します。
８日（金）だいち　松保交流会
９日（土）ダンディ・タイム
　　１７：００～
１２日（火）歯科健診 10：00
　　幼児ブラッシング指導
１３日（水）絵画
１５日（金）眼科健診 14：30
１９日（火）耳鼻科健診 13：00
２０日（水）おでかけ　自然グループ
２１日（木）ひかり懇談（１７：３０～）
　　子育て支援（すまいる）
　　月例健診
２６日（火）子育て支援
　　（ベビーマッサージ）
２８日（木）お誕生日会
　　いぶき懇談（１７：３０～）
　　巡廻指導（１４：００～）
２９日（金）絵画
３０日～7月１日　お泊まり同園会
７・１４・２１・２８日
　　つぼみ～だいち体操

≪７月の予定≫

４日（水）つぼみ懇談（１７：３０～）
５日（木）かえでカフェ
６日（金）七夕まつり
中旬頃～　プール開始
２１日（土）ダンディ・タイム